

平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月25日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 フュージョンパートナー
 コード番号 4845 URL <http://www.fusion-partner.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 健三
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 南 陽子

TEL 03-6418-3898

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	1,254	30.8	199	35.2	217	52.0	159	105.3
23年6月期第3四半期	959	11.7	147	40.5	143	43.9	77	△15.2

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 166百万円 (122.2%) 23年6月期第3四半期 74百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	1,144.11	—
23年6月期第3四半期	569.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第3四半期	1,747	1,461	83.6	10,464.27
23年6月期	1,722	1,379	80.1	9,879.11

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 1,461百万円 23年6月期 1,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	250.00	—	250.00	500.00
24年6月期	—	300.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	300.00	600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,665	23.3	248	20.4	260	23.2	186	36.9	1,331.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期3Q	149,539 株	23年6月期	149,539 株
24年6月期3Q	9,863 株	23年6月期	9,863 株
24年6月期3Q	139,676 株	23年6月期3Q	136,738 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当企業集団は、事業の選択と集中を推進し、経営資源の効率化を進めるとともに、成長分野への人員増強による事業拡大等、企業価値の向上に努めました。

当第2四半期に引き続きSaaS/ASP事業及び言語処理関連事業の業績が好調に推移しており、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は1,254百万円(前年同期比30.8%増)、連結営業利益は199百万円(前年同期比35.2%増)となりました。

連結経常利益は、投資有価証券の売却益15百万円等の影響があり、217百万円(前年同期比52.0%増)となりました。

なお、連結四半期純利益につきましては、159百万円(前年同期比105.3%増)となりました。

セグメント別の状況は以下の通りであります。

○ SaaS/ASP事業

SaaS/ASP事業につきましては、デジアナコミュニケーションズ(株)が提供する検索結果に画像が表示されるサイト内検索サービス『i-search』の導入実績が増加し、当第3四半期では新たに日興アセットマネジメント(株)、日本ハム(株)、および大鵬薬品工業(株)等に導入され、順調に推移しております。

Webサイト上での「よくある質問」の管理や社内情報共有管理ツールとして提供されている『i-ask』は、当第3四半期では新たにソニー損害保険(株)、岡三オンライン証券(株)等に導入されました。

サイトプリントサービス『i-print』は三井不動産(株)、フィールズ(株)に導入され、順調に導入実績を伸ばしております。

また、来る5月9日～11日には、東京ビッグサイトで開催されるWeb&モバイル マーケティングEXPOに出展いたします。昨年の同展示会においては、潜在ユーザーを掘り起こし多大な収穫がありました。今年も昨年展示の商品に加え、新サービスのデモンストレーション・商品説明を準備・計画しております。

これらの事業活動及び月額固定サービスの特質である毎月の積み上げにより、売上高は累積的に増加しており、その結果、当事業における売上高は646百万円(前年同期比14.9%増)と順調に推移いたしました。

○ 言語処理関連事業

言語処理関連事業につきましては、(株)ニューズウォッチが、新たな事業収益体制の構築に向けた諸施策を迅速に実施してまいりました。

同社は、企業及び個人向けニュース配信・検索サービス、サイト内検索サービス、情報ポータルサイト『フレッシュアイ』の運営等、独自の自然言語処理・フィルタリング技術及びインターネット検索技術を活用したサービスを提供しております。

当第3四半期では、同社の運営する『フレッシュアイ』をスマートフォンに最適化することにより収益化を進めております。

また、(株)ジェーシービーが展開する“ハワイのおトク情報サイト”「ハワイ部」、(株)ベネッセコーポレーションが展開する進研ゼミ会員制高校講座サイト及び社団法人日本医師会にサイト内検索サービスが導入されました。

その結果、当事業における売上高は496百万円となりました。

○ データベース事業

データベース事業につきましては、データベース・コミュニケーションズ(株)のメインフレーム向け基幹データベース管理システム『M204』のプロダクトが前期に終了したことにより、売上高は61百万円となり前年同期比で36百万円の減少となりました。

また、製造業向けの特許管理システム『PatentManager』の売上高は47百万円となり、前年同期比で5百万円の増加となりました。

その結果、当事業における売上高は110百万円(前年同期比23.1%減)となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ25百万円増加し、1,747百万円となりました。その主な要因は、有価証券の取得による増加160百万円、有形固定資産並びにのれんの償却等による減少36百万円、投資有価証券の売却等による減少20百万円及び繰延税金資産の取り崩しによる減少77百万円等によるものであります。

（負債）

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ56百万円減少し、286百万円となりました。その主な要因は、長期借入金の返済による減少30百万円等によるものであります。

（純資産）

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、1,461百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益159百万円の計上及び配当による剰余金の減少76百万円の発生等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年8月15日の決算短信で公表いたしました通期の予想から、連結売上高につきましては、SaaS/ASP事業が順調に推移し25百万円増加したことにより1,665百万円（前年同期比23.3%増）としております。

連結営業利益につきましては、売上高増に伴う人件費等の増加により12百万円減の248百万円（前年同期比20.4%増）としております。

連結経常利益につきましては、2百万円増の260百万円（前年同期比23.2%増）としております。

また、連結当期純利益につきましては、6百万円増の186百万円（前年同期比36.9%増）としております。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	633,601	652,849
受取手形及び売掛金	191,130	212,221
有価証券	—	160,025
仕掛品	640	7,195
その他	97,982	40,921
流動資産合計	923,354	1,073,213
固定資産		
有形固定資産	45,576	35,724
無形固定資産		
のれん	328,474	302,396
その他	6,986	6,205
無形固定資産合計	335,460	308,601
投資その他の資産		
投資有価証券	126,148	105,490
繰延税金資産	236,230	167,641
その他	56,054	57,163
貸倒引当金	△114	△57
投資その他の資産合計	418,319	330,237
固定資産合計	799,356	674,563
資産合計	1,722,711	1,747,777
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,429	46,579
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
未払法人税等	8,826	6,510
その他	124,026	81,037
流動負債合計	198,282	174,128
固定負債		
長期借入金	140,000	110,000
その他	4,554	2,043
固定負債合計	144,554	112,043
負債合計	342,836	286,171

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,011	1,133,011
資本剰余金	661,498	661,498
利益剰余金	△124,965	△41,982
自己株式	△297,678	△297,678
株主資本合計	1,371,865	1,454,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,008	6,757
その他の包括利益累計額合計	8,008	6,757
純資産合計	1,379,874	1,461,606
負債純資産合計	1,722,711	1,747,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	959,127	1,254,077
売上原価	427,453	542,742
売上総利益	531,674	711,335
販売費及び一般管理費	384,075	511,795
営業利益	147,599	199,539
営業外収益		
受取利息	567	383
受取配当金	2,750	2,750
有価証券売却益	1,074	15,408
その他	2,926	4,598
営業外収益合計	7,318	23,139
営業外費用		
支払利息	1,172	1,995
投資事業組合運用損	8,927	1,878
有価証券売却損	578	—
その他	1,006	1,078
営業外費用合計	11,684	4,951
経常利益	143,233	217,727
特別利益		
貸倒引当金戻入額	24	—
特別利益合計	24	—
特別損失		
関係会社株式売却損	131,815	—
その他	2,000	—
特別損失合計	133,815	—
税金等調整前四半期純利益	9,442	217,727
法人税、住民税及び事業税	6,014	8,931
法人税等還付税額	—	△30,656
法人税等調整額	△74,780	79,648
法人税等合計	△68,766	57,922
少数株主損益調整前四半期純利益	78,208	159,804
少数株主利益	387	—
四半期純利益	77,820	159,804

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	78,208	159,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,250	6,757
その他の包括利益合計	△3,250	6,757
四半期包括利益	74,958	166,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,570	166,562
少数株主に係る四半期包括利益	387	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成23年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	ASP事業	言語処理 関連事業	データベ ース事業	プロモー ション事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	562,822	180,051	144,150	71,802	958,827	300	959,127	—	959,127
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,400	—	—	—	5,400	—	5,400	△5,400	—
計	568,222	180,051	144,150	71,802	964,227	300	964,527	△5,400	959,127
セグメント利益	216,346	35,580	36,780	1,687	290,394	210	290,605	△143,006	147,599

(注) 1 セグメント利益の調整額△143,006千円は、セグメント間取引消去△5,400千円、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用△137,606千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	SaaS/ASP 事業	言語処理 関連事業	データベ ース事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	646,780	496,406	110,890	1,254,077	—	1,254,077	—	1,254,077
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,100	45	—	7,145	—	7,145	△7,145	—
計	653,880	496,451	110,890	1,261,222	—	1,261,222	△7,145	1,254,077
セグメント利益	269,238	74,515	22,886	366,639	△94	366,545	△167,006	199,539

(注) 1 セグメント利益の調整額△167,006千円には、セグメント間取引消去△7,145千円、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用△159,861千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。